

中西 弘樹¹:ビンロウジュ *Areca catechu* L. (ヤシ科) の果実の漂着
 Hiroki NAKANISHI¹: Some records of drift fruits of *Areca catechu* (Palmae) in Japan.

ビンロウジュ *Areca catechu* L. はマレー半島原産で、インドや東南アジアで栽培されるヤシ科の高木である(金平 1933; Corner・渡辺 1969)。果実は楕円体で、長さ5cm余り、直径約3cmで、薄い外果皮、繊維状の中果皮、やや堅い内果皮よりなり、その中に堅い種子がある。

本種の果実または種子の漂着はタイから記録されているが(Kerr 1930)、日本ではきわめてまれで、これまで山口県下関市で漂着種子が記録されたのみであった(Nakanishi 1987)。しかし、2008年8月から2009年2月までの半年の間に、長崎県において6例の漂着があった。ビンロウジュとしては異例の頻繁な漂着があるので、報告しておきたい。

漂着果実が発見された場所は、表1と図1に示したように、長崎市から4例(旧長崎市:1, 旧西彼杵郡三和町:1, 旧西彼杵郡野母崎町:2), 対馬市峰町(旧上県郡峰町)から1例, 佐世保市宇久町(旧北松浦郡宇久町)から1例の、計6例であった。果実は核(内果皮)の破損したものを1例を除き、いずれも繊維質の中果皮のうち、外側の細い繊維がなくなり、やや太い繊維が露出した状態のものであり(図2)、直径は2.4~2.7cm(1例のみ直径1.8cm)、長さ4.5cmであった。

筆者はこれまで30年以上にわたって日本の漂着果実

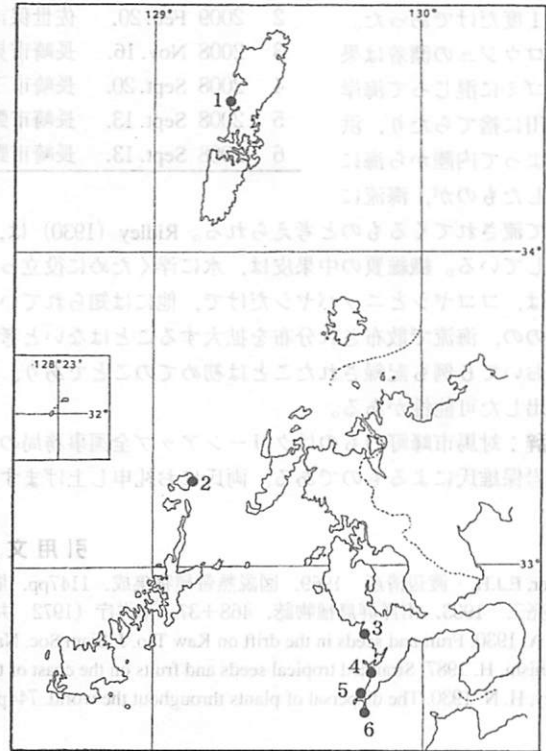


図1. 長崎県におけるビンロウジュの漂着地点. 図中の番号は表1と一致する.



図2. 漂着したビンロウジュの果実.

と種子について調べてきたが、ピンロウジュの果実または種子が漂着した例は1度だけであった。ピンロウジュの漂着は果実がゴミに混じって海岸や河川に捨てられたり、洪水によって内陸から海に流出したものが、海流に

よって流されてくるものと考えられる。Ridley (1930) は、本種の果実が河川によって下流に選ばれることを観察している。繊維質の中果皮は、水に浮くために役立っていると考えられるが、海流散布に適応したヤシ科植物は、ココヤシとニッパヤシだけで、他には知られていない。したがって、ピンロウジュの果実は水には浮くものの、海流で散布され分布を拡大することはないと考えられる。このように半年の間に長崎県という1地域において6例も記録されたことは初めてのことであり、黒潮源流域において、同時期に何らかの原因で多量に流出した可能性がある。

謝 辞：対馬市峰町のものはクリーンアップ全国事務局の小島あずさ氏、佐世保市宇久町からのものは宇久町の大岩保雄氏によるものである。両氏にお礼申し上げます。

表1. ピンロウジュの果実の漂着例

発見年月日	場 所	備 考
1 2008 Aug. 25.	対馬市峰町木坂御前浜	中果皮, 直径2.7cm, 長さ4.5cm
2 2009 Feb. 20.	佐世保市宇久町長崎鼻	中果皮半分, 直径2.5cm
3 2008 Nov. 16.	長崎市見崎町田熊の浜	中果皮, 直径1.8cm, 長さ4.5cm
4 2008 Sept. 20.	長崎市三和町蚊焼鯨浜	内果皮の半分, 直径2.5cm
5 2008 Sept. 13.	長崎市野母崎町野母港北	中果皮, 直径2.4cm, 長さ4.5cm
6 2008 Sept. 13.	長崎市野母崎町樺島	中果皮, 大きさ不明

引用文献

- Corner, E.J.H.・渡辺清彦 1969. 図説熱帯植物集成. 1147pp. 廣川書店, 東京.
 金平亮三 1933. 南洋群島植物誌. 468+37. 南洋庁 (1972 井上書店復刻)
 Kerr, A. 1930. Fruit and seeds in the drift on Kaw Tao. J. Siam Soc. Nat. Hist. Suppl. : 103-117.
 Nakanishi, H. 1987. Stranded tropical seeds and fruits on the coast of the Japanese Mainland. *Micronecica*20: 201-213.
 Ridley, H. N. 1930. The dispersal of plants throughout the world. 744pp., L. Reeve & Co., Kent.

(Received May 10. 2009; accepted June 28. 2009)

¹ 〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学教育学部生物学教室

¹ Biological Institute, Faculty of Education, Nagasaki University, 1-14, Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521